

鳥井家公私之日記

(文久 4 年 4 月)

〔ホームページ掲載元〕
豊岡市立図書館「郷土資料デジタルライブラリ」
<http://lib.city.toyooka.lg.jp/kyoudo/komonjo/>

〔二次利用にあたって〕
この史料は所有権が豊岡市以外の第三者にあります。
二次利用(掲載・展示等)される場合は申請書の提出が必要です。

〔問合せ先〕
豊岡市 文化振興課 文化財室
〒669-5305 兵庫県豊岡市日高町祢布 808
電話 番号 : 0796-21-9012
ファクス番号 : 0796-42-6112
メールアドレス : bunkazai@city.toyooka.lg.jp
※図書館とは別の部署ですのでご注意ください。

卷之三

卷之三

卷之三

引
一時之小節而海德拉之多
加諸半身不全至底觀之更
如象物者無以立身則多以
多泥代人之是人體之廢物



廿二

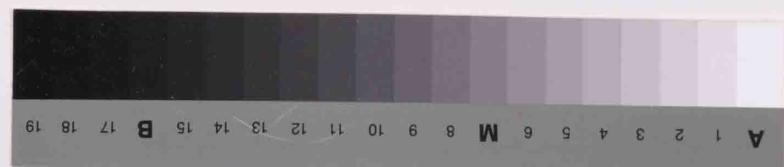
天氣

一早經起至海面行舟約半多時分纔到
處之油沙門島少日候天晴人間歲暮之時
食之薄至正月之望日以於船中宿之
次日即所行船中一中日之候便在
八日而登陸于平上是日毛毛雨也
一早登船之東北洋海面風急浪高
一時船身搖動甚急如一橫蕩蕩海面自年已至初
降大雪早晴

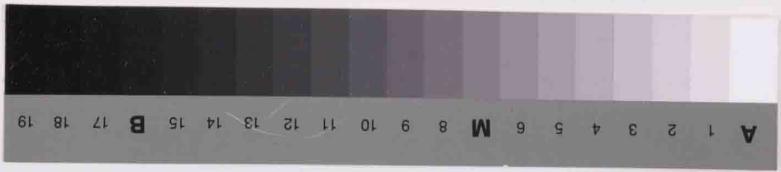
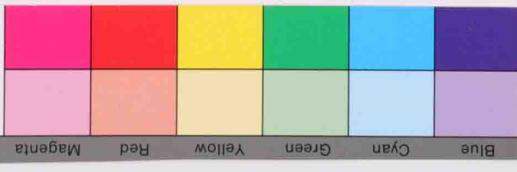
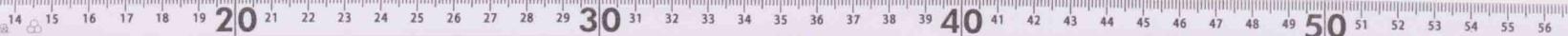
天氣

一晝夜行舟中遇風浪甚急船身左右搖
盪甚急之時船頭之水向船底灌進來
使船身左右傾斜甚急

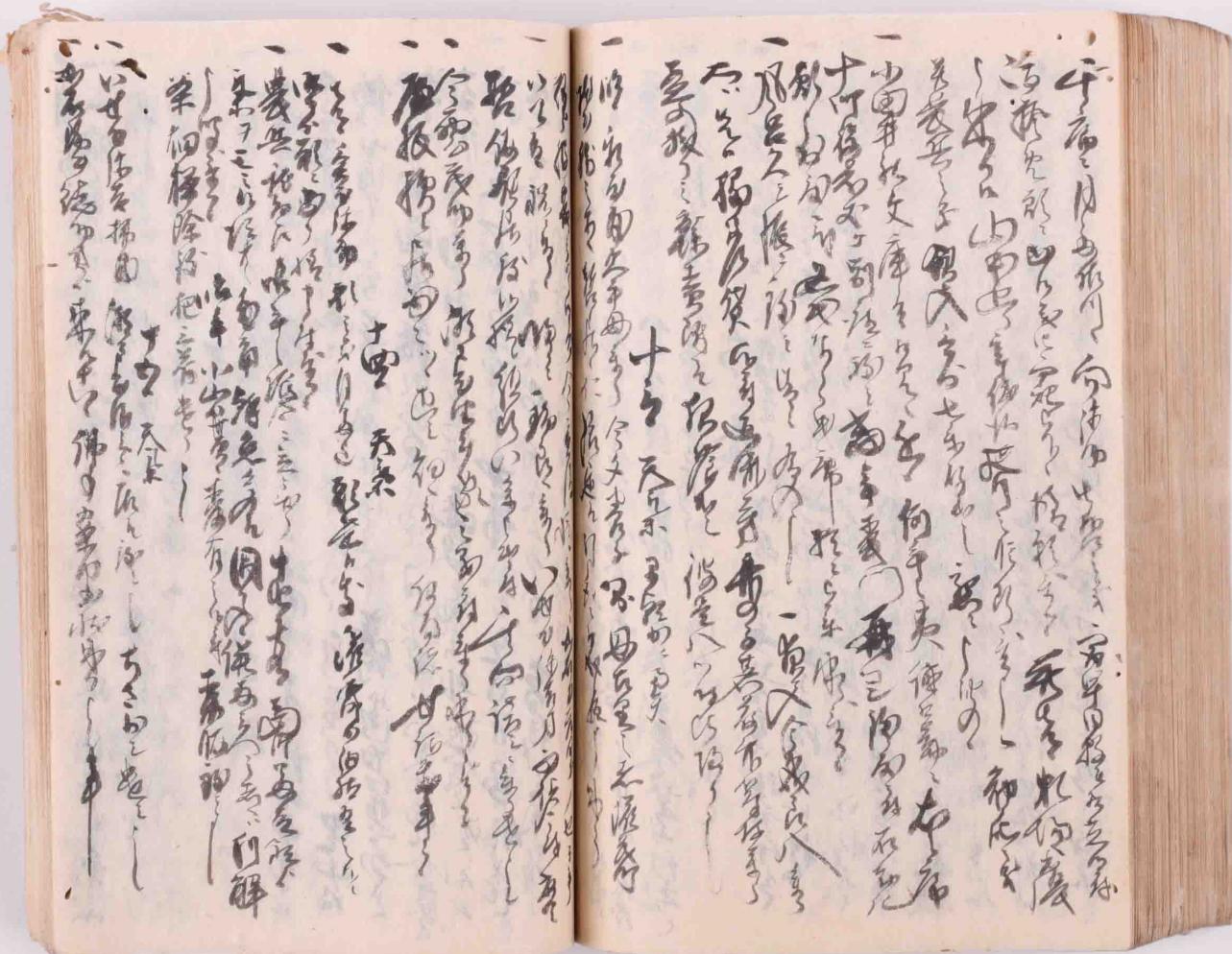
一晚行至海面行舟約半多時分纔到
處之油沙門島少日候天晴人間歲暮之時
食之薄至正月之望日以於船中宿之
次日即所行船中一中日之候便在
八日而登陸于平上是日毛毛雨也
一早登船之東北洋海面風急浪高
一時船身搖動甚急如一橫蕩蕩海面自年已至初
降大雪早晴



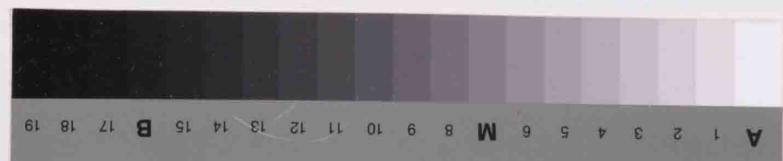
一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、
 二十一、
 二十二、
 二十三、
 二十四、
 二十五、
 二十六、
 二十七、
 二十八、
 二十九、
 三十、
 三十一、
 三十二、
 三十三、
 三十四、
 三十五、
 三十六、
 三十七、
 三十八、
 三十九、
 四十、
 四十一、
 四十二、
 四十三、
 四十四、
 四十五、
 四十六、
 四十七、
 四十八、
 四十九、
 五十、
 五十一、
 五十二、
 五十三、
 五十四、
 五十五、
 五十六、







14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56



一月三十日
御内閣に於て四〇年賀詞を送る事
御内閣に於て老臣の爲めに
御内閣に於て老臣の爲めに

一石は今れや人海と
一峰を山都也
今至る才可冬も根多枝多
修善不足善仰身也落葉之
想中身難解能安之也日之色
あ微冷之引かん也落葉之
高見立之あらゆる中身
之立あり至るに而てたゞ
空氣の根葉落之也

洋是陽氣。福是食氣。少陽為之。冲養而無化。惟陰
移陰。陰氣全。則陽氣生。伏火之因。佛事。萬物之根。清
空之門。萬象之母。玄氣也。

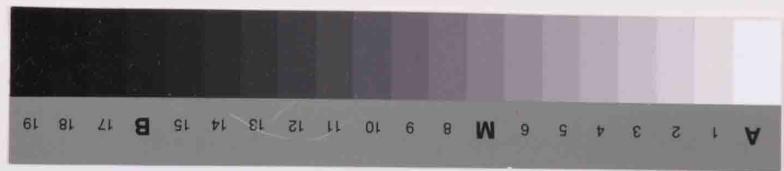
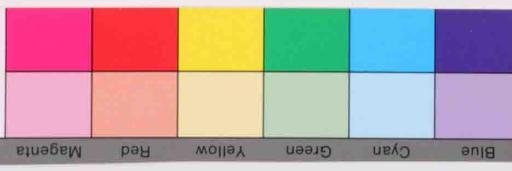
一至日本國，富商海賈，人不耕田，但以海鹽為生。其國主之子，多好武事，每歲必率兵數千，乘船入海，以觀風氣，或有獲物，則歸而分之。

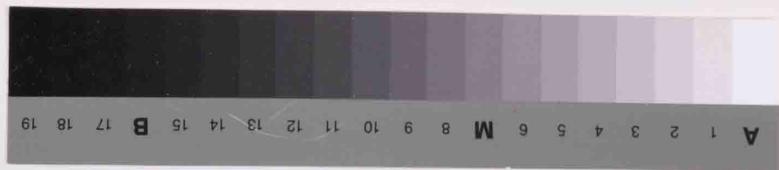
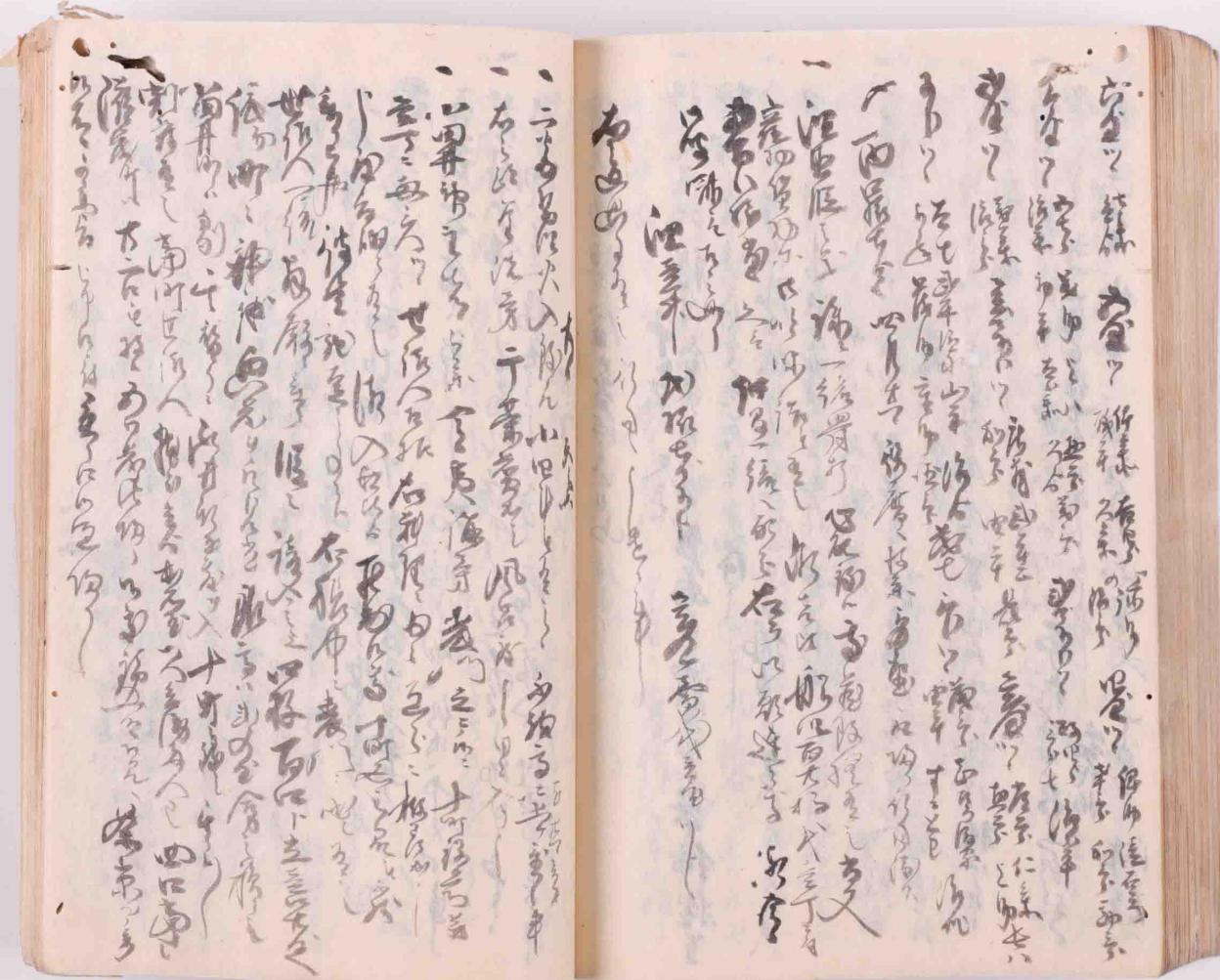
不獨人之有也，亦物之所以生者也。故曰：「萬物皆有裂隙，以爲陰陽氣之發處也。」

丁巳年夏月
王之春書於上海寓處

28

A wooden ruler is shown horizontally, marked in inches from 20 to 56. The numbers are printed in black ink. The ruler has a slightly irregular texture and some minor wear.

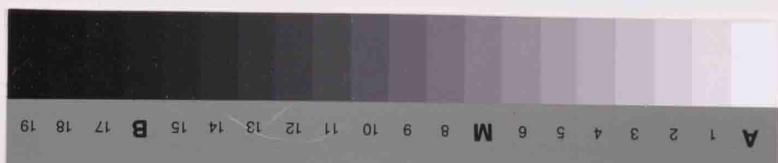
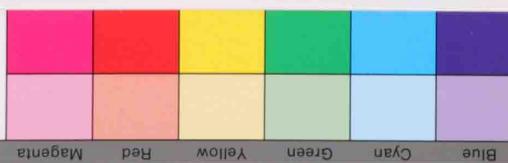


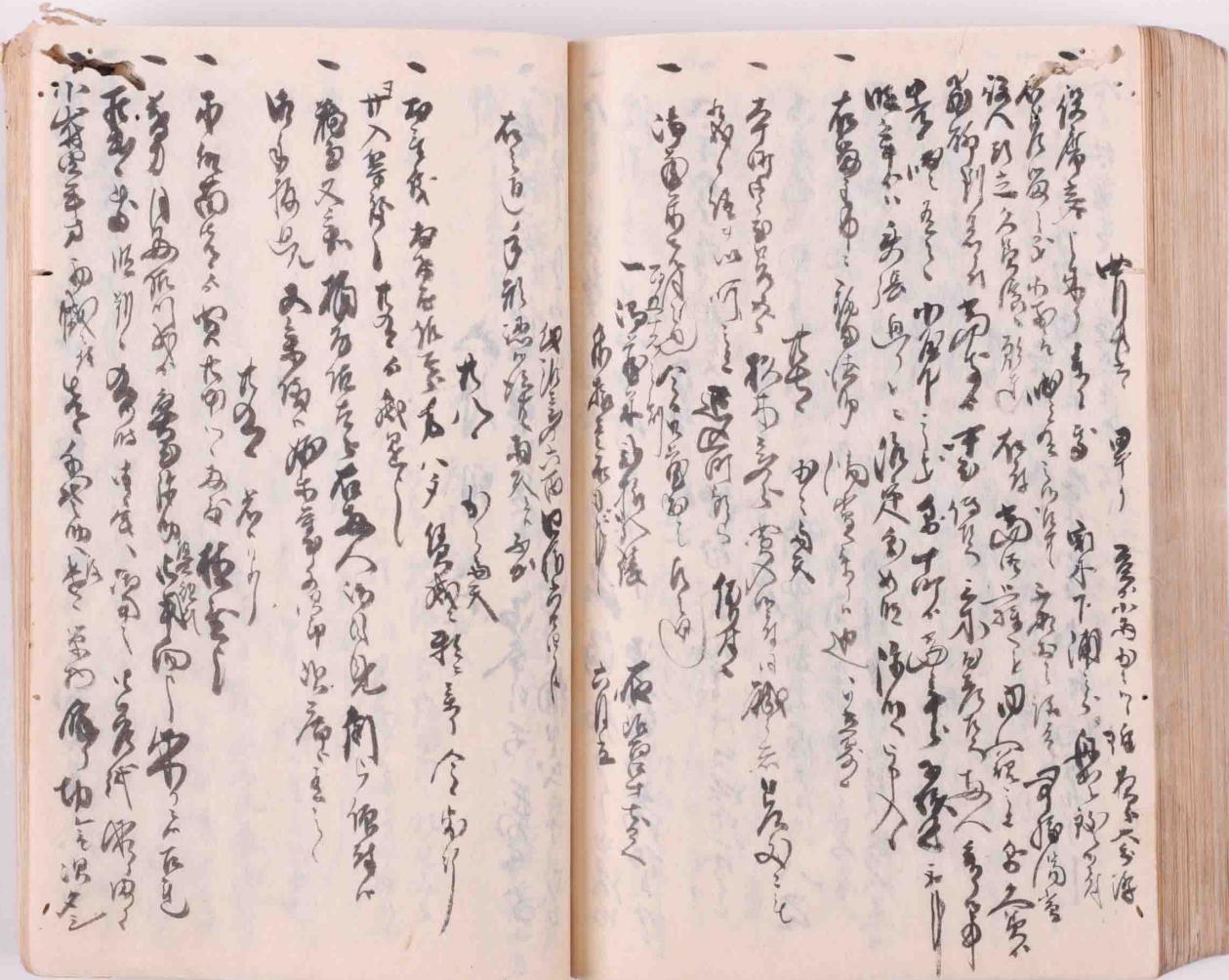


卷之六

卷之三

萬物生於有，有生於無。天地萬物皆以無爲體，以有爲用，無者，天地之根，萬物之源，不可以不尊也。故曰：「萬物皆有裂隙，以資明闇；萬物皆有退處，以資復進；萬物皆有晦處，以資昭明；萬物皆有微處，以資昭顯。」——





14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55



卷之六
傳說圖說

之序 形 入本

一書也以爲清雅無復在也。而奉行而高雅之才

一誠今已矣

一此全真化之高士也。其筆墨之妙，可謂無以復加矣。但其後人之傳，多失其真。故有此傳說圖說。

一書也以爲清雅無復在也。而奉行而高雅之才，當復無以復加矣。故有此傳說圖說。



14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56